



出稼中は賭博禁止

アイタホ元祖組の決議

過般一團となつてアイタホ州に出稼する労働した、ボール・C・C・C・キャンブの労働者百三名は去る水曜日の第十五食堂で集會を持ち、出稼中はキャンブ内で賭博、飲酒嚴禁の規約を満場一致で決議した。

労働條件、キャンブ條件を交渉整理する爲に甲斐ナット、西田省吾、若木ジョニー、有吉幸治、内村角、目野熊夫、武藤フレッドの七名が委員として選舉された。

ボール・C・C・C・キャンブには先發隊居残り五十九名が既に共同賣店を設立して、種々の準備を整へてゐると。

告 示

一九四二年九月廿六日

所長代理 ハーベ、カバレー

一、十月一日を期して全町各區に區支配人を定む。

二、區支配人は家庭部及び職業部長より指令を受ける。

三、區支配人の職務は次の如し
政府所屬品を監督し支給品を配布し、當局發表の情報を弘め、家屋其他の保全、修繕の必要を傳へ、區事務所の従業員を監督し、其他區民の安寧福祉を保つこと。

四、現在の區長は區支配人として各區に任命される。區支配人の居ない區は、選定方法が決まり次第任命される。

公衆電話敷設さる

行政部建物の入口に公衆電話が設置され、マンザナー、センタール民の便宜を取計らふ事になつた。長距離電話もかけられるが、會話は英語に限られてゐるとE.H.パー書記、加藤丸子嬢は語つてゐる。

A.F.L.加州大會

日系市民を擁護

九月廿三日、長濱にて開催されし、米國加州労働聯盟席上に於いて提出されし、「米國憲法を修正して日系市民の市民権を剝奪し、我々、全日本人を送還せよ」との

議案は壓倒的に否決された。

同議案に反對意見を述べた二、三の代表者を紹介する。

案港新聞従業員代表者、ヤオン、バック氏

「人種又は皮膚の色が異なる故に日本人を排斥することは米國建國の精神に悖る」

羅府支部、食堂原料運入及ウエター代表 ジェームス、アンダソン氏

「同議案の通過は米國を労働協會及び米國の恥辱とする所在オークランド元澤業運轉手代表ブラウニー、シレキ氏

「該法案の通過は米國の威勝に何等貢獻せず、却つて獨逸國宣傳の資料とされるものである」

學校生徒に

衣服支給始まる

去る月曜日より第廿二倉庫に於いて中小學校生徒にカーキ服、ウール地上着、股引等が支給されてゐます。但し支給は登録した生徒にのみ限られてゐますから全學童は登録して下さいと。

俳句

野遊の留守は我世の晝寝かな 一空
涼しさやマンザナー高原朝散步 同

同郷人の友愛に満ちる
布哇生れ日本人クラブ

布哇生れの青年男女がクラブを組織して、建設的な運動をしてゐる事は周知の事である。

先日アイダホへ向けて布哇生れの一行が出発の際は、同クラブは大衆的送別演奏を「停車場」の前で挙行した。

同催しは比賀ボール氏によつて準備され、マックス、ハワイアン及びシエラ、スター兩管絃團が演奏したが、その統一振りは一般の認める所となつた。

同クラブは全布哇出生者及び前在住者の加入を希望してゐる。

瞳の静けさを破つた 無理心中の惨事

九月廿五日早朝、廿五十三一に於いて心中を遂げてゐる夫婦を、働きの人が發見、直ちに警察に届け出た。

急報に接し、早速駆けつけた署員の調査に依り、右二名は睡眠中絞殺された妻榮（廿八歳）及び自殺を遂げた岡崎哲三（四一歳）である事が判明した。

岡崎哲三の認めた三通の遺書か

ら見て覺悟の自殺らしく、目下警察當局では此の遺書を繙譯し真相調査を行つて居る。

ドクターの報告では、夫哲三の死因は窒息及び胸部、手首の傷により、妻榮の死因は窒息、顔面の打撲傷に依るものだ。

岡崎夫妻には四歳と六歳の二人の娘の子があり、今藤森牧師が此の二人の遺兒の面倒を見てゐる。

立退いた處へ

出稼ぎに行く者

マンザナール労働者一千名がアイダホ及びモンタナのピーツ畑に出稼ぎ労働者として働きに行きつゝある時コロラド河ヒラ河の各轉住所の若手も中央アリゾナの綿摘みに出かけてゐる。

デウィット中將の特別軍令は本年春日本人が立退いた第一軍事地帯内で日本人の出稼ぎ労働を許したものである。是迄中將は日本人労働者を西部沿岸軍事地帯で使用する事を許可しなかつた。二十萬餘英加の長綿が三、四千名の義勇労働者によつて收穫される筈である。

此の長綿はグライダール、舊下金其

の他の軍需品製造に最も必要なのである。

同仕事には白人並みの賃銀が拂はれる筈である。

雇ひ度し

消防署、警察署及び病院に仕事口が澤山あります。

希望者は一五五四の職業紹介所へ申込んで下さい。

退院御禮（英文譯文）

私達長々入院中は一方ならぬ御配慮に預り尙度々御見舞下され誠に有難く御禮を申し上げます。お蔭様にて愈々全快退院致しました故何卒御安心下さいませ。

就きましては一々參上御禮を申し上げますが失禮乍ら紙上を以つて厚く厚く御禮を申し上げます。

九月廿九日 廿八一三四

今井 正

短歌

川端に 藤川

木の根枕に結ぶ夢
敵の國とも

思はざりけり

眞の主張者たれ

立退以前、加州沿岸地帯で、その日その日を過してゐた頃は、我々は責任あるもの、考へ方をした。我々には一定の仕事、職業、商賣があつた。

出鱈目な事をする、それは直ちに自分のバンの問題となり、子供の教育問題となり、夫妻の問題となり、さては外聞、名譽の問題となつた。

白人を顧客として營業してゐた關係上、日本人全体の名譽を常に重んじた。

日本人有識者は、我々の間に犯罪記録の少いことを何よりも誇として語つた。

戦争は不幸にして遂に太平洋上に擴がつた。

今や、日本は米國の敵である。それは米國々民が悪いのでも、在米同胞が悪いのでもなく、亦日本國民の罪でもない。それは戦争なのだ。

併し我々は沿岸地帯から追放された。

昔の白人顧客にも、う何の緣故もなくなつた。

或る者は言ふ「これは人種戦だ。そして白人は皆敵だ！」と

その上我々はマンザナーに來た。朝から晩まで諷を合はす者は四方八方日本人ばかりである。そしてもの、考へ方とはめどもなく一方に偏するばかりである。

今日では、誰も彼も皆勇敢に政府の方針を非難攻撃してゐる。又労働組合の問題にしても、日本人の多くは組合に反對であつたし、假令賛成であつても表向きは知らぬ顔をしてゐるのが常であつた。

併し、今日、我々の間では、白人並みの組合賃銀を貰へ！の要求は壓倒的である。

政府に對する批判、労働者の權利要求は米國デモクラシーの基本であり、斯かる傾向は或る意味に於いて喜ばしい事であるかも知れない。

併し今日までは、政府に衝突したり、ユニオンを口走る事には眞向から反對であつた人々が今日は一變して殺氣立つ程白人並みの待遇を主張してゐるが、その論點は寧ろ無理矢理に意地を張つてゐるやうにしか思はれない時がある。デモクラシーは他人事ではない。奴隸制度や壓政に反對のものはデモクラシーの味方である。

現存のデモクラシーを不完全と思ふなら、それを最も完全なものにするのが役目である。デモクラシーを利用して、論戰を本能寺でやらうなんて考へは卑怯である。

生活の改善、我々の權利の擁護はデモクラシーの爲の闘ひである。

デモクラシーの爲に闘ふ爲には將來、我々が米國に足場を置く事が第一條件とされねばならない。

デモクラシーの爲の闘ひは人種を超へ、國境を超へてなされねばならない。

我々は此處で、彼らは獨逸で、支那で、印度で闘はねばならない。誇るべき日本の歴史を顧ると、

其處には、血の滴る民權闘争の跡がある。

勤王、佐幕の争覇の渦から、明治維新の全國的百姓一揆から、遂に首斬り捨て御免の大名政体(四四二)

各轉住所展望

北はアイダホ州よりワイオミング州南はアリゾナ州、コロラド河とヒラ河畔、東はアーカンサス州のミシシッピイ河、西は加州のマンザナーに到る間、各地に散在して十ヶ所の日本人轉住所が設けられてゐる。

各轉住所はその場所が異なると共に地勢も異なり、氣候も違ふ。最初設置された當マンザナー、セリタは面積は最も小さいが、人口は他の轉住所と略々同数である。ボストン、ツラ、レーキとヒラー河畔の轉住所は殆ど定員に達し、皆元氣で生活してゐる。

他のキャンフは略々完成し日々假集合所より立退者が到着してゐる。左に全轉住所を簡単に紹介する。ユタ州ミリアード郡、收容人口一萬人、面積一萬九千英加、海拔四千七百呎、氣候は華氏百度より零下十五度乃至二十度迄、降雨量は年八吋。

アリゾナ州、ユマ郡、コロラド河ホストン收容人口一萬人、面積九萬英加、年中殆ど絶え間なく植物が成長して居る。氣候は華氏百廿度より

り零度まで、降雨は極く僅か。

アリゾナ州バイナル郡、ヒラ河畔收容人口一萬五千人、面積一萬六千四百六十七英加、海拔約一萬五千呎年中殆ど絶えず植物が成育してゐる。夏期は非常に暑くて長く、冬は稍寒くて短い。

コロラド州ブローニス郡グラナダ收容人口八千人、面積二萬英加、海拔三千四百呎、平均降雨量十五吋雪は約十四吋、植物成育期間平均百六十五日、氣候は華氏百度より十五度。

アーカンサス州チコ及びデリュウ郡、ジェロメ、收容人口一萬人、面積一萬英加にしてミシシッピ河畔にある。降雨量平均五十二吋氣候平均華氏六十四度、約四ヶ月半霜が降る。

アーカンサス州デシヤ郡、ロワー收容人口一萬人、面積一萬英加、降雨量、氣候はジェロメと殆ど同じ。加州インヨー郡マンザナー、收容人口一萬人、面積六千英加、海拔四千呎、氣候、夏は百度より冬は約二十度。植物成長期間長く、降雨量四吋である。



(三度目續キ)

か亡び、裁判所が出来、議會が現れ、憲法が發布され、後日には労働組合も組織された。

これは皆、日本國民の血と汗の闘争の結晶である。

日本デモクラシーの指導者、板垣退助は刺客の手に仆れつゝ、自由民権の爲に叫んだ。

「板垣死すとも、自由は死せずと、

有段者昇級(前號ヨリノ續キ)

三段に昇級した者

山田茂春、上村勇、豊島ディック、

三宅茂、芳川四郎、日野木實、

二段に昇級した者

前川ジョージ、谷ジョージ、小諸南雄

井上一雄、佐藤市雄、新田次郎

掛橋秀男、掛橋芳男、三木正廣。

初段に昇級した者

東田砂雄、今本正和、河野芳雄

松本勇、中島トム。

八月手當

出稼就働者へ郵送

出發迄に八月分現金手當を受取らなかつた出稼者、就働者へは小切手を送ると會計部より報告があつた。



TRANSLATION

(Japanese edition, The Manzanar Free Press)
September 29

1. First furlough volunteers resolve to prohibit gambling while on furlough. (translated from English section)
2. Letter of Project Director Coverley to Block Leaders. (translated from English edition)
3. Public telephone installed in Manzanar. (translated from English edition)
4. The A.F. of L. state convention defeats anti-nisei resolution. (translated from English edition)
5. Distribution of clothing to schoolchildren begins (translated from English edition)
6. Japanese haiku (17 syllable poetry)
7. Hawaii Club members display strong comradeship (translated from English edition)
8. Murder-suicide stirs Manzanar citizens (translated from English edition)
9. Japanese allowed furlough work in military zone by order of General Dewitt. (translated from English edition)
10. Workers wanted in Fire Police and Hospital departments. (translated from English section)
11. (advertisement) Appreciation of kindness while in hospital. (translated from English edition)
12. Japanese poetry by Fujikawa.
13. Be a champion of truth (original article by James Oda)

While we were living on the Pacific Coast before evacuation, we used to think responsibly. We had definite work, job, or business. If we did irresponsible things, it was immediately reflected upon our livelihood, upon our children's education, upon matrimonial relationship. It became a question of public honor. Having many Caucasian customers, the Japanese thought to preserve their collective honor. Japanese leaders pointed with pride at our low crime rate.

Unfortunately the war spread upon the Pacific. Now, Japan is America's enemy. It is not because the Japanese in America are bad, nor does it mean that the Japanese people are criminally responsible. It is simply war.

However, we were driven out of Coast areas. We have no relationship with our former Caucasian customers any longer. Some Japanese exclaim that this is a race war and the Caucasians are our enemies. On top of that we see nothing but Japanese in Manzanar. There is no restraint on our thinking. We become biased in our thought.

Today everybody in Manzanar is heroically (in satirical sense) criticizing the American government. In days gone by, the Japanese as a majority opposed the trade unions or those who sympathized with the movement pretended that they were unconcerned. But today, we have people among us who advocate getting the same wages as Caucasians - this pressure is very strong. Criticism of the government, demand for the rights of workers - these are the foundation of democracy. And in one sense, it is a good sign.

However, the people who opposed the criticism of government of who opposed trade unions, changed overnight and are advocating equal treatment with the Caucasians, but it seems to us that this is being done through willful intent rising from emotionalism. Democracy is not other people's business. People who oppose enslavement and tyranny are the true friends of democracy. If people think that the present democracy is incomplete, they should strive to make it perfect. To use democratic process to "try to get even" is a cowardly way of thinking.

Improvement of our living conditions, protection of our rights - these are the struggles for democracy. - In order to fight for democracy, we must, first, make our determination to remain in this country. The struggle for democracy oversteps the boundary of race and nations. We struggle here while others fight for democracy in Germany, China, India, everywhere. If we look at the history of Japan, we see bloody footsteps of those who fought for people's rights. Out of the struggle between the followers of shogunate and the Emperor, out of peasant revolts came the destruction of absolute tyranny of feudal system, and came the courts of law, the parliament, the constitution and later the formation of trade unions. This is all a product of the struggle with blood and sweat on the part of the Japanese people.

Taisuke Inagaki, leader of Japanese democratic movement, exclaimed when felled by an assassin, "Inagaki dies but freedom lives on!"

14. August payments mailed to furlough workers (translated from English edition)

15. Jude tourney products (translated and continued from previous issue)